



民報

No.1048 2007-04-01

日本共産党 須佐支部

電話 2016 fax 2223

kinn2@haginet.ne.jp

観音に守られし如糸桜

柳井山甫

句集「郷巡り」より



国道椿大橋と鶴江にかかる平和橋完成

萩地域で二つの橋の開通式がありました。

国道262号のバイパスが完成し、24日開通式がおこなわれました。悪天候で渡り初めはおこなわれませんでした。多くの人々が集まって祝いました。

また新川西から鶴江にかかる平和橋も完成しました。

30日には完成式があり、渡り初めがおこなわれました。地元の人々が、ぜんざいを振る舞い、完成を祝いました。

気になる声が続出

平和橋は、鶴江・香川津の人々にとつてはとても大切な橋です。完成が待たれていましたが、気になる声がたくさん聞かれます。日本共産党に届けられた投書を紹介し、いっしょに考えてみたいと思います。

市民の不安の声続出

さらに、数人の方々から

直接声を聞いてみました。

「今までの橋は、ロクじゃつた（水平の意）。今度の橋は

太鼓になつてチョル（アーチ型）。これじゃあ、仮橋でもえんやらさつとじゃつたそに、としよりは歩いても通られんぞよ」「高い、押し車を押して上がるのは何とかなるが、下りがどんどん押し車だけまえていくけんちよつと怖い」「向こうが見えんけんえの。気をつけにゃあ」と言われます。

アーチ型で高くなつた

前の橋は回転橋で、川の中に橋脚があつたので桁が

投稿



とができるだろうか、不安の人が多くが生活橋として喜ばれる橋でありたいと思つ」と記している。また、

着工前、説明の集会があり、歩行車道を強く要望していた。

「火事のあとの火の用心」にならないこと、事故橋といわれぬよう切望したい。

「火事のあとの火の用心」にならないこと、事故橋といわれぬよう切望したい。

住民のみなさん、他にも

ぎりぎりの高さに抑えた 条件が厳しい

建設部では、説明会も聞き住民の声を充分聞いており、それを生かすためにぎりぎりまで努力したといっています。しかし、昔の橋と違って車が通行するだけの強度や耐震強度を上げる必要があること、橋と水面の断面積を確保する必要があり、鶴江は山が迫り民

十分な安全対策が求められる

しかし、完成したいまの時点で設計変更や橋の架け替えができるわけでもありませんので、善後策を考えないといけません。一番問題は安全対策です。橋が高く坂道になつたことから、見通しが利かないことと、自転車などはスピー

意見を遠慮なくお寄せください

気がついたことがあれば どんどんお知らせください。みなさんといっしょに考えていきます。



新しい平和橋（左）仮橋（右）手前が新川向こうが鶴江 26日

萩「平和橋」は安全か？

萩市新川西から鶴江にかかる「平和橋」が3月30日、太鼓橋になつて開通（完成式）

まず、通行して考えられることが交通事故やお年寄りの歩行に問題（転倒・骨折）はないだろうか。果たして安全かということである。

お年寄りから「いま

某町内の老人会報で「（前略）あの上り坂を高齢者は歩いて、自転車を押しても通るこ

「火事のあとの火の用心」にならないこと、事故橋といわれぬよう切望したい。

住民のみなさん、他にも

福祉タクシーの復活はできないのか

宮内議員は3月議会で住民の交通手段の確保を取り上げました。田万川・須佐で05年度までおこなっていた高齢者福祉タクシーについては、未だに復活を求める声があります。特に田万川では田万川方式の福祉タクシーを求める声が依然として根強くあります。今回も住民の方から取り上げてほしいという要望がありました。

ぐるっとバスで市民の要求にこたえられるか

宮内議員 須佐・田万川では依然として福祉タクシーの復活を求める声があります。ぐるっとバスの運行改善が進められていますが、果たして市民の要求にこたえられるものになっている

予約方式で弾力運行し

野村市長 福祉タクシーは20数枚、ぐるっとバスは何回でも乗れる。利用可能回数は格段に増えています。ぐるっとバスは定時定路線でどこまでとはいけないという不満があります。しか

宮内議員 会員制の外出支援組織への助成の可能性について聞きます。会員制というのは有償運送ということとを回避するために私が考えたことです。

宮内議員の一般質問



のかどうかお聞きします。ぐるっとバスが実施されて田万川須佐では1年になります。この間にわかった課題とそれに対する対応をお聞きしたいと思います。田万川方式での福祉タク

しばらく様子を見る 循環バスも始める



シデマンド(予約)方式になって福祉タクシーに近いものになっています。利用される方は限られています。この方式でしばらく様子を見たいと思っています。また4月1日から須佐・

現在は過疎地や福祉目的で、NPO、農協、社会福祉法人などの民間組織でも有償運送ができるということになりました。

田万川方式は全市に可能



しかし有償運送となると登録が必要です。国交省は「ガソリン代程

度の謝礼は有償運送には該当しない。」と認めています。

会員制にして会費で人件費や自動車の経費をまかない、燃料費の実費を謝礼という形で負担する方法が考えられます。

市民の協力と行政からの援助があれば、全ての過疎地で田万川方式の外出支援が可能ということを示しています。有償であれ無償であれ、家用自動車を使つた方法で運送事業をおこなう組織団体に助成する可能

実費負担で全市に福祉タクシーできる

大事なのは無償という範囲に、実費分の謝礼なら認められるということ。利用したときにガソリン代を利用者が負担すること、年間または月間の会費を払うことで、無償運行として認められます。

性はありますか。

ぐるっとバスはこれにしたかった

現状での助成は難しい

野村市長 ぐるっとバスはこれにしたかったんです。しかし有償になると地域の運営協議会の合意が必要で、難しい。それを避けてぐるっとバスにしたわけです。将来は有償でせめて100円ぐらいは負担してもらいたい。会員制の団体に助成するかどうかは、ぐるっとバスが運行されている中で

は、難しい。もう少し協議したい。
ぐるっとバスが走っていないところでは

宮内議員 ぐるっとバスが走っていない地域もありません。そこではどう考えますか。

野村市長 走っていない地域で、住民のみなさんが対応しようとすれば、一つの方法になるでしょう。福祉団体などがおこなえば研究検討したいと思っています。

無料法律相談

4月 17日(火)

午前10時～11時30分

サンライフ萩

弁護士が相談を受けます

無駄な通勤手当



遠距離異動で



市の職員の異動があります。広い萩市で人事交流として遠距離の人事もおこなわれているようです。しかし、それだけ通勤手当が出されることになりません。その金額もかなりの額になるはず。民間では、考えられない話です。財政削減というのであれば、こうした無駄なことをやめるべきです。近くに住む人が事情を良く知った近くの職場で働くほうが効率的です。